

LOPEC 2026 ファイナルレポート

オーガニック&プリントド・エレクトロニクス産業国際見本市・会議
2026年2月24日～26日

2026年2月26日

LOPEC 2026: 世界的潮流を示し、市場創出ソリューションを展開



Summary

- 29カ国から158社が出展
- 世界各国から2,400人超が来場
- 実用可能な技術と具体的アプリケーションに焦点

Facts & Data

会 期	見本市:2026年2月25日(水)～26日(木) 会 議:2026年2月24日(火)～26日(木)
会 場	ICM – International Congress Center Messe Muenchen
主 催	Messe Muenchen GmbH – メッセ・ミュンヘン OE-A – オーガニック・プリントド・エレクトロニクス協会
規 模	4,000 m ² (2025年 4,000 m ²)
出 展 企 業	29カ国から158社 (2025年 29カ国から170社)
来 場 者 総 数	48カ国から約2,400人 (2025年 40カ国から約2,400人)
主 な 出 展 品	マテリアル、コンポーネント、生産プロセス、アSEMBル・パッケージ技術、システム・インテグレーション、インスペクション・テスト・システム、デバイス、アプリケーション、サービスなど
出展日系企業 (現地法人・代理店出展含む)	(株)きもと、コニカミノルタ(株)、(株)桜井グラフィックシステムズ、東レ(株)、ナガセケムテックス(株)、浜松ホトニクス(株)、藤倉化成(株)、(株)プリウエイズ、マイクロクラフト(株) ほか
専 用 U R L	www.lopec.com (英語/ドイツ語)

2026年2月24日から26日まで、メッセ・ミュンヘン国際コンgresセンター(ICM)において LOPEC 2026 が開催された。29 か国から 158 社が出展するなか、世界各国から 2,400 名を超える来場者を迎えた。LOPEC は市場展開につながるアプリケーションに明確な重点が置かれ、フレキシブル・プリントド・エレクトロニクス分野において世界をリードするプラットフォームとしての地位を改めて確立した。来場者数は前年比微増ながらも、会場内は高い専門性によって形作られ、非常に前向きな活気に満ちていた。

LOPEC では、モビリティ、スマートリビング、医療技術、エネルギー、産業用途において、プリントド・エレクトロニクスがその強みを一層発揮する具体的なアプリケーションに重点が置かれている。見本市およびカンファレンスの全体を通して、持続可能な材料コンセプト、エネルギー効率の高い生産プロセス、省資源ソリューションに重点が置かれた。同時に、これらの技術は重要な産業基盤技術としての認識を一層高めている。



LOPEC: イノベーションと産業応用の中核プラットフォーム

メッセ・ミュンヘンのニューテクノロジーズ事業部長カティア・ストーレは、「出展者数の安定した推移と議論の質の高さは、LOPEC が業界の中核プラットフォームとして、イノベーションを促進し、将来の重要テーマを具体的な形で提示する場であることを示すものである」と、高く評価している。また、産業界からの積極的な参加は、見本市における産業応用の拡大と歩調を合わせて進展している。これは、LOPEC エキシビション・ディレクターのアルミン・ヴィットマンが説明しているように、今年の展示ホールには例年以上に多くの機器が出展されたことにも表れており、ヴィットマンは次のように述べている。「今年は、技術のスケールアップが重要なテーマであり、見本市会場内には特に多くの機器が出展された。これは、プリントド・エレクトロニクスが産業用途段階へと飛躍的に進歩したことを示している。」

業界の動向と市場の見通し

LOPEC における議論は、OE-A (Organic and Printed Electronics Association) のマネージング・ディレクター Klaus Hecker 氏が紹介しているように、産業界の自信に満ちた姿勢を等しく反映するものであり、Hecker 氏は次のように述べている。「LOPEC 2026 は、我々の業界の強い勢いを明確に示した。展示ホールが活気に満ちている光景は、いつ見ても強い印象を与える。来場者の高い関心と産業界の強い存在感は、業界が成長軌道にあること、そしてフレキシブル・プリントド・エレクトロニクスが、よりスマートで持続可能な未来の実現に不可欠な役割を果たしていることを改めて裏付けている。地政学的緊張や経済的課題があるにもかかわらず、業界は明らかに未来を見据えている。実際に、売上は7%成長しており、2027年には10%の成長が見込まれている。」

意思決定者にとって効率的な交流の場

LOPEC は、関連する専門家や意思決定者と直接会い、協業の立ち上げや具体的なビジネス協議ができるという非常に有効なプラットフォームとして、出展企業から高く評価されている。



ドイツの Henkel 社でプリントド・エレクトロニクス部門を率いる Stijn Gillissen 氏は、「LOPEC は、プリントド・エレクトロニクスのバリューチェーン全体が結集し、パートナーとつながり、新たなイノベーションを発見し、エンドユーザーが技術の実装過程を直接確認する場である」と述べている。また、ポーランドの XTPL 社 CEO の Filip Granek 氏は、「LOPEC には、研究者、エンジニア、事業開発担当者、意思決定者といった、

まさに最適な人材が一堂に会し、しかも皆が真摯な議論を交わしている。プリントド・エレクトロニクス技術の産業製造への移行領域で働く者にとって、カンファレンスセッションでも、展示会場でのビジネス協議においても、これほど生産的な場はほかにない」と述べている。

価値ある出会いと広がる応用領域

さらに、見本市は、新たなビジネス関係を築き、技術の幅広い応用分野の全体像を把握する場でもある。米国 E Ink 社のビジネス&マーケティング戦略担当シニアディレクターである Jenn Vail 氏は、「当社の立場から言えば、LOPEC への出展は、最新の製品や技術開発を紹介できる優れた場であるとともに、新たな顧客やサプライヤーと出会う絶好の機会であり、非常に価値がある。LOPEC には、高度な技術を持つエンジニアから研究機関、新たな着想を求めるプロダクトデザイナーまで、実に多様な来場者が集まる。当社は、長年にわたり LOPEC を通して多くの有益なつながりを築いてきた。2027 年の開催も楽しみにしている」と述べている。

この多様性は、技術のさまざまな応用分野を紹介する Innovation Showcase にも表れていた。会場には、統合型照明ソリューションやインテリジェントサーフェス(機能性表面)から、医療用途の機能性テキスタイル(高機能繊維素材)まで、幅広く紹介されていた。

研究と産業を結ぶ専門カンファレンス

展示に加えて、3 日間にわたって開催された LOPEC カンファレンスは、その内容面において確かな方向性を示した。カンファレンスでは、産業界と研究機関が、材料、印刷技術、インテグレーション(実装・組み込み技術)、デザイン、システムソリューションに関する最新動向について議論を交わされた。モビリティやスマートリビングといったテーマに関する応用志向のセッションは、ユーザー視点を一層強化するものとなった。



LOPEC のジェネラルチェア(総合議長)である Wolfgang Mildner 氏は、「LOPEC 2026 のカンファレンスプログラムは、先進材料や製造技術から、自動車、航空、ヘルスケア、スマートリビング、持続可能システムといった実用アプリケーションに至るまで、フレキシブル・プリントド・ハイブリッドエレクトロニクスが持つ革新力を余すところなく反映している」と述べ、「私たちの目標は明確である。研究と産業の架け橋となり、材料科学とシステムインテグレーション(実装・組み込み技術)を結び付け、技術的ポテンシャルを信頼性が高く量産可能な製品へと転換することである」と結んでいる。

LOPEC の国別参加状況

来場者の出身国別に見ると、ドイツ国外からの来場者数は堅調であり、なかでもフィンランド、イタリア、日本、オランダ、英国からの伸びが大きかった。厳しい経済環境下にあって、これは産業の底堅さを示す明確な兆しと言える。ドイツに次ぐ主要な出展国は順にフランス、米国、スイス、スペイン、オランダ、日本である。

次回の LOPEC は、2027 年 3 月 2 日から 4 日(見本市: 3 月 3 日、4 日)まで、ドイツ・ミュンヘンで開催される。

詳細情報並びに写真は、専用ホームページまで: <http://www.lopec.com>

資料請求、各種お問い合わせ先: **メッセ・ミュンヘン 日本代表部**

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)